

うちの学校紹介しまあ!

その13 津名中学校



津名中学校が位置する津名地区は、公共施設や商業施設等の生活関連施設の拠点として、淡路市の中心的役割を担っています。本年度の生徒数は、1年生が116名、2年生が105名、そして3年生は124名、合計345名が快活おおらかに、都会的な気質を併せ持つ仲良く、楽しく学んでいます。「ベストをつくせ」を校訓とし、「自ら考え、協働して課題解決できる『確かな学力』を育み、こころ豊かで自立した生徒の育成」を教育目標として、「自ら考えて行動できる津名中っ子に」を研修テーマとしています。

津名中学校で力を入れている事業のひとつが「食育」です。「食の価値を知り、自己



人気の給食メニュー作り

管理能力を備えた健全な食生活を実践できる生徒の育成」を研究主題に、昨年度、津名中学校を会場として、「平成29年度学校食育実践研究大会（淡路地区）兼平成29年度地域の特色を生かした食育推進事業研究発表会」が行われました。生徒たちが持てる力を十分に発揮し、活動するためには、生活習慣と食習慣の両面から自己管理能力をつける必要があると考えました。日々の授業の中で取り組んだ「ちよこつと食育」は、食育を推進することで学力向上に大変寄与することを実感でき、成果を上げることができました。



韓国サッカーチームとの交流

平成29年8月18日、淡路広域行政事務組合が主催する国際交流事業の一環で、韓国の南海島から中学生のサッカーチーム「南海リフレッシュFC」が来日、津名中学校の文化創造部の生徒たちの和太鼓で交流を行いました。自分たちと同年代の韓国の若者と日本の文化で触れ合うことができ、太鼓や踊りは、言葉を超えて通じ合うことを実感しました。

その文化創造部は、部活動として和太鼓の演奏を行い、様々なステージに出演させていただきました。今年度も7月22日（日）に行われる「淡路市夏まつり」に出演させていただきますので、ぜひ生徒たちの頑張っている姿をご覧ください。

淡路市の「人権意識調査」からシリーズ⑨

インターネット

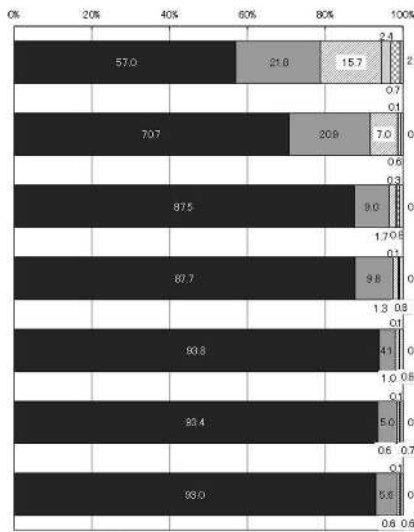
現代においてインターネットは、テレビの録画やランチの予約まで、まさに生活の一部となっている状況と言えるでしょう。この広大なネットの海には便利なものもあれば問題となるものもあります。その中のひとつにSNS（ソーシャル・ネットワーク

ング・サービス）で人権問題として行われている「書き込み」というものです。グラフを見て分かるように差別だけでなく、個人情報流出や性的なメールの送受信、他人の悪口やSNSでの仲間外しなどが、あります。ただし、本当に問題となるのは、「差別」や「偏見」という文言が含まれていても、問題だと思えるのは7割程度しかないということではないでしょうか。

その匿名性により急速に広がっていくSNSなど、ネットの環境は日ごとに変わっています。

【問 15- 1】 携帯やスマホ、パソコンなどのインターネット上で、次のような書き込みについてあなたの考えに近いものについてお答えください

- ア. 同和地区の地名を明らかにするような書きこみ
- イ. 同和地区出身者や障がいのある人、外国人などに対する差別をおおったり、偏見やマイナスイメージを広げる書きこみ
- ウ. 名前、電話番号、住所、メールアドレスなど、個人を特定できる情報流出させる書きこみ
- エ. 他人に知られたくない写真、動画などの掲載
- オ. 児童の裸の写真などの掲載
- カ. 相手が嫌がる性的なメールなどの送受信
- キ. 学校裏サイトやブログなどで悪口やSNSでの仲間外し



■ 問題だと思う ■ どちらかといえば問題だと思う
 □ どちらともいえない ■ どちらかといえば問題だと思わない
 ▨ 問題だと思わない □ 不明・無回答